

# 薬剤師の採用状況等に係る調査結果について（令和6年10月実施）

令和6年12月  
医療・保険課

県内の薬剤師の採用状況、需要動向等を把握するため、病院・薬局を対象にアンケート調査を実施しましたので結果の概要を報告します。

## 1 調査基準日等

調査基準日：令和6年9月1日 調査対象：43 病院、276 薬局  
回答率：75.5%（病院：79.1%、薬局：75.0%）

## 2 今回の調査結果

### (1) 令和6年度の薬剤師採用実績（令和6年4月1日～9月1日）

新たに薬剤師（パート等を含む。）を採用した病院・薬局の状況は次のとおりであり、前回調査（令和4年）と比較して減少した。

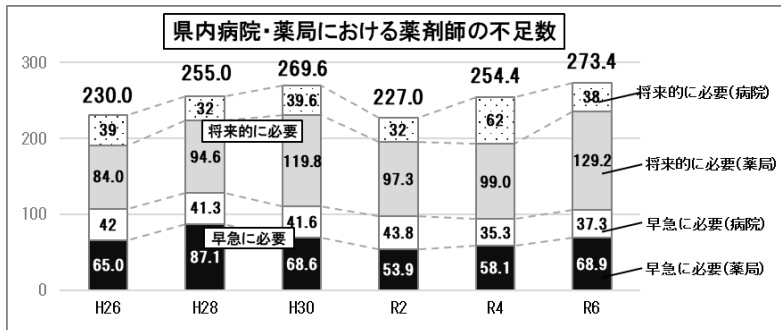
	H28 調査	H30 調査	R2 調査	前回 (R4) 調査	今回 (R6) 調査
採用施設数	39 施設	40 施設	50 施設	46 施設	<b>42 施設</b>
採用人数	46.4 人	47.9 人	54.3 人	62.0 人	<b>39.9 人</b>
うち新規免許取得者	29.0 人	28.0 人	34.8 人	31.8 人	<b>17.9 人</b>

※常勤換算後の人数

### (2) 薬剤師の需要

全体の必要数は増加（+19.0 人）しており、依然として薬剤師の需要が高い状況である。

必要数を項目ごとに見ると、「早急に必要薬剤師数」は前回より+12.8 人、「将来的に必要な薬剤師数」は+6.2 人、それぞれ増加している。特に薬局における「将来的に必要な薬剤師数」は、不足数が大きく増加（+30.2 人）している。



(単位：人)	前回 (A)	今回 (B)	増減 (B-A)
合計	254.4	273.4	+19.0
将来的に必要な (5年程度)	161.0	167.2	+6.2
早急に必要 (1年以内)	93.4	106.2	+12.8

### (3) 薬剤師を必要とする理由

#### ①早急に必要とする理由（複数回答可） 87 施設（病院：24 施設 薬局：63 施設）

- 早急に必要とする理由として最も多い理由は、「現状の勤務体制に余裕がない」であり、87 施設のうち 44 施設が回答していた。
- その他の理由については、「一人が抱える業務量が多く、インシデントのリスクがある」、「時間外勤務の削減」、「過去の退職者の補充がまだできていない」といった回答があった。

#### ②将来的に必要な理由（複数回答可） 114 施設（病院：22 施設 薬局：92 施設）

- 病院において、最も多かった理由は「育休・退職予定者の補充のため」、次いで「病棟活動を充実・拡大させるため」であった。
- また、薬局においては、「在宅医療や相談業務を充実・拡大させるため」が最も多い理由で、次いで「育休・退職予定者の補充のため」であった。
- ⇒病院、薬局ともに、休業・退職予定者の補充と併せて、病棟業務又は在宅医療における業務の充実・拡大に伴う人材確保が継続して必要であると考えられる。